

安全データシート

改訂日:2021年1月8日

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称(製品名)	グリセリン
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社)
	(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
	(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	BC0169
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	全ての項目で「区分外」、「分類対象外」又は「分類できない」
GHS分類に該当しない他の危険有害性	可燃性である。 火災時に刺激性あるいは有毒なヒュームやガスを放出する。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学品
化学名又は一般名	グリセリン
別名	グリセロール
化学式	CH ₂ (OH)CH(OH)CH ₂ (OH)
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:56-81-5
濃度又は濃度範囲(含有率)	98.5%以上
官報公示整理番号(化審法/安衛法)	(2)-242
4. 応急措置	
吸入した場合	鼻をかみ、うがいをさせる。水でよく口の中を洗浄する。医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行う。直ちに医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。意識がある場合には、食塩水等を飲ませて吐かせる。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、水溶性液体用泡消火剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の措置に関する特有の危険有害性	火災時に刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。
特有の消火方法	水を噴霧して容器類を冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 密閉された場所に立入る前に換気する。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた液をふた付きの容器に集める。 残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	火気厳禁。
安全取扱い注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
接触回避	酸化剤との接触を避ける。
衛生対策	使用後は手をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。 直射日光を避け、換気の良い涼しい場所に密封して保管する。 消防法に従って保管する。

安全な容器包装材料	ガラス
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	TLV(ミスト):10 mg/m ³ (TWA)
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	糖蜜状液体
色	無色透明
臭い	無臭
融点・凝固点	18°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	290°C
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	2.6~11.3vol%(空气中)
引火点	176°C(c.c)
自然発火温度	400°C
分解温度	290°C以上
pH	該当情報なし。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水と混和する。吸湿性あり。
n-オクタノール/水分係数	log Pow: -1.76
蒸気圧	0.01Pa(25°C)
密度及び/又は相対密度	1.26g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性	酸化剤と反応する。
化学的安定性	加熱すると分解し、腐食性のアクロレインフュームを生じる。
危険有害反応可能性	強力な酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	裸火、着火源、高温、直射日光、酸化剤との接触、等
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	アクロレイン
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: LD50 ラット 12600mg/kg(区分外)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚: LD50 ラット >10,000mg/kg
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	皮膚に刺激作用がある。(分類に使用可能なデータが入手できない為、分類できない)
呼吸器感受性又は皮膚感受性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: (急性) LC50(魚類, 96時間):68,100mg/L
	長期: (慢性) 該当情報なし。
残留性・分解性	微生物等による分解性は良好とされている。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。

オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物第4類第3石油類水溶性液体
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類)
16. その他の情報	
参考文献	国際化学物質安全性カード(ICSC) 16615の化学商品(化学工業日報社) GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会) GESTIS Substance Database
その他	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。